



12/1は世界エイズデー

急に寒くなってきましたが、体調を崩してはいませんか？

12月1日は「世界エイズデー」です。トイレの貼紙で気になった人もいるでしょうが、今回は、性感染症について皆さんに知ってもらいたい情報をまとめました。

ぜひ、最後までお読みください！

今知っておくべき3つの性感染症

梅毒

【感染経路】

感染経路の多くは性的接触。

【症 状】

特徴的な症状として赤い発疹（バラ疹）が手のひらや足の裏、身体全体にできる。

★今日本では急拡大しており、1999年以降初めて患者の数が1万人を超え、依然としても増加を続けている。

性器クラミジア感染症 淋菌感染症

【感染経路】

感染経路の多くは性的接触。

【症 状】

女性は無症状のことが多い。
男性は尿道のかゆみや不快感、排尿時の痛みなどがある。

★若年層で患者数が増加している。

エイズ（AIDS）

HIV（ヒト免疫不全ウイルス）を原因として発症する感染症。

【感染経路】

①性的接触

最も多い感染経路。

②血液感染

HIVが混入した血液により感染する。注射器・注射針の使い回しや違法薬物の回し打ち、医療現場における針刺し事故がリスクとして挙げられる。

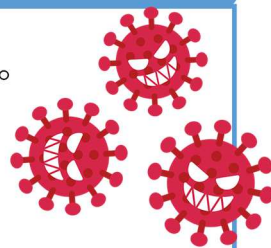
③母子感染

母親がHIVに感染している場合に妊娠中や出産時に感染したり、母乳によって感染する。

【症 状】

多くの場合、感染してもすぐに症状は見られない。

HIVに感染してから2～4週間で発熱や倦怠感など、風邪やインフルエンザに似た症状が現れることがある。



性感染症の予防

性感染症の予防には、**コンドームの正しい使用**が有効です。



▲大阪市HP

参考となる記事を右のQRコードからぜひチェックしてみてください！

感染したかも...と思ったら



保健所や**医療機関**に相談しましょう！

症状が出ていなくても不安なことがあれば相談するようにしてください。

匿名での電話相談も受けられます。

エイズについては、**HIVの抗体検査**を受けることが重要です。

保健所や自治体の運営する検査所では、匿名・無料で検査を受けることができます。

気になることがあれば、学生課 保健担当にも気軽にご相談ください！！

性感染症と差別・偏見

エイズをはじめとする性感染症において、「**偏見・差別**」は深刻な問題となっています。

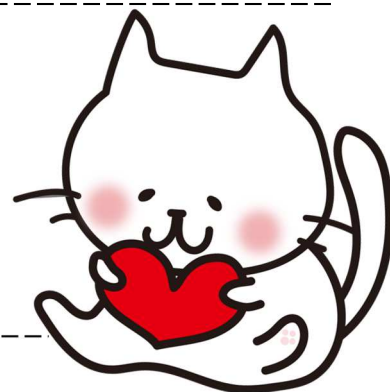
エイズ患者が普通に社会生活を送れば感染させることはないにも関わらず、周りの理解がなく差別を受けることもあります。

正しい知識

差別や偏見をなくすためにも、まずは**正しい知識**

を身につける必要があります。

これにより、皆さんの不安も払拭できます。



最後までお読み頂きありがとうございました！

性感染症は、他の感染症と違い、人に相談することによってどうしてもためらいや迷いを感じてしまいがちですが、放置しておくとな命に関わる危険なものです。

そのためにも正しい知識を持ち、きちんと備えることが必要です。

今回の保健室だよりが、まずは性感染症について正しく知ろうと思ってもらえる一つのきっかけになれば嬉しいです。

体調に関して不安なことや気になることがあれば、気軽に学生課 保健担当にご相談ください！（保健担当は、庄屋学舎・正雀学舎の学生課にいます。）